

日 時:4月16日(土) 15:30~18:00

場 所:千葉市生涯学習センター 大研修室

テーマ:『自動血球計数装置の基礎～見えていますか?スキャットグラム。新人さんいらっしゃい!』

演題内容

演題1「XNシリーズ シスメックス株式会社」

シスメックス株式会社 東京支店学術サポート課 丸木 佳子 氏

演題2「DxHシリーズ ベックマン・コールター株式会社」

ベックマン・コールター株式会社 学術統括部門 東日本ヘマトロジー 吉田 里恵 氏

演題3「セルデザインシリーズ アボットジャパン株式会社」

アボットジャパン株式会社 営業部テクニカルスペシャリスト 高橋 一三 氏

演題4「ADVAシリーズ シーメンスHCD株式会社」

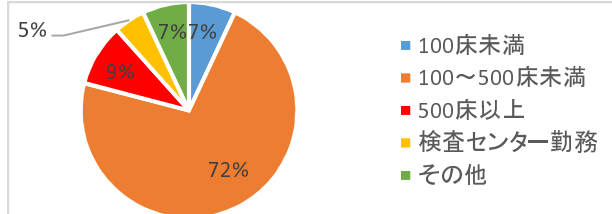
シーメンスHCD株式会社 マーケティング部HHS事業部 尿/血液学術コンサルタント 秋葉 俊一 氏



アンケート結果(回答43件/参加者57名)

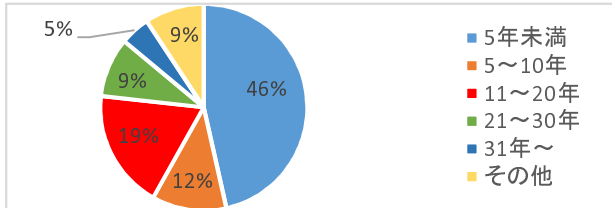
1、あなたの勤務先の病床規模はいつですか?

100床未満	3
100~500床未満	31
500床以上	4
検査センター勤務	2
その他	3



2、あなたの血液検査経験年数は何年ですか?

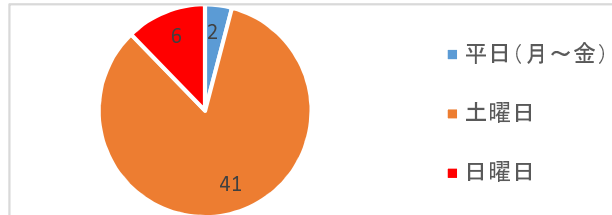
5年未満	20
5~10年	5
11~20年	8
21~30年	4
31年~	2
その他	4



3、研修会開催について、ご希望の曜日または時間はありますか?

平日(月~金)	2
土曜日	41
日曜日	6

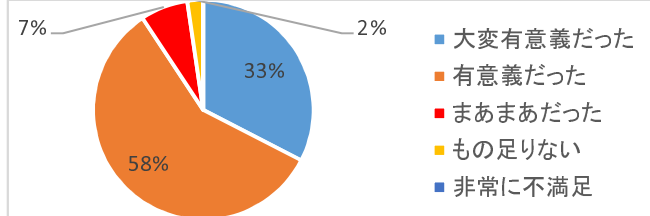
・15時から ・15:30から ・13時から ・平日なら夕方



4、今回の血液研修会についてどのような印象をお持ちですか?

大変有意義だった	14
有意義だった	25
まあまあだった	3
もの足りない	1
非常に不満足	0

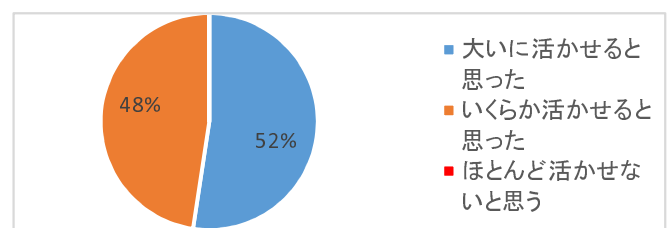
- ・もう少し新人にもわかる内容だと理解が深まる。シスメックスを使っているが、内容が早く消化不良。
- ・機器導入時に説明を受けたが、もう一度復習できた。 ・機器フラグの意味について学べた。
- ・各メーカーの特徴を説明してもらったが、良い悪いの理解が出来なかった。予習が必要だったかな?と思った。
- ・自施設の機械の特徴を改めて知る事が出来た。他メーカーとの比較を初めてする事が出来た。
- ・様々な要因によるスキャットグラムの変化、見方について知る事が出来良かった。
- ・各メーカーの比較が出来る機会は非常に少ないと思います。
- ・初級者向けの事であったが、話している内容は難しすぎると考えられます。新しく機器を導入しようと思っている施設長には良い内容と思います。
- ・自動血球装置のサンプルフローから学び、スキャットグラム情報から異常の見つけ方、影響がわかりフラグメッセージの意味が分かった。
- ・各メーカーの違いは分かった。機器のマニアクスについても良くわかりました。資料の多さを早く済ませるのではなく、少ない情報で確実に理解できる次につながる講演が欲しい。新人理解できたでしょうか?



5、研修内容は今後の職務に活かせると感じましたか?

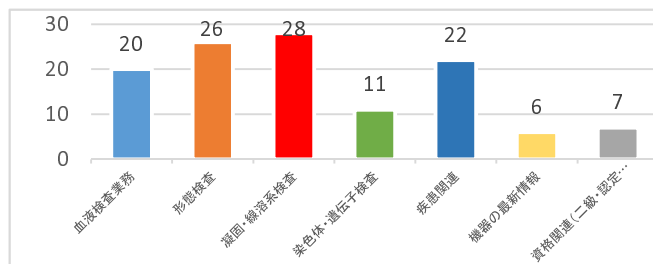
大いに活かせると思った	22
いくらか活かせると思った	20
ほとんど活かせないと思う	0

- ・実際のケーススタディ通りの事があった時に対応できると思うので。
- ・見選していたスキャットグラムについて気付かされた。
- ・自施設の原理など十分に把握していなかったので内容についていけない所があった。
- ・スキャット、ヒストグラムも良く見るようになります。 ・使用機器の取扱説明書をよく読んでみたいと思いました。
- ・目視確認する前にスキャットグラムを見る事で参考になると思いました。
- ・スキャットをより利用できると思いました。 ・今後、機器の検討の参考になると思う。
- ・血球測定時、異常値が出た時の対処法が活かせると思いました。
- ・各社の話を聞く機会がなかなか無いので良い。 ・各メーカーの機器を比べる事が出来た。



6、今後の血液研修会の内容について、一番関心の高いものはなんですか？（複数回答可）

血液検査業務	20
形態検査	26
凝固・線溶系検査	28
染色体・遺伝子検査	11
疾患関連	22
機器の最新情報	6
資格関連(二級・認定血液)	7
その他	0



7、今後、希望する研修会テーマはございますか？

- ・疾患と最新の治療。
- ・骨髄の続きをお願いします
- ・血小板機能
- ・血液像
- ・凝固線溶系検査の見方、異常値の解釈など。
- ・業務中に遭遇するトラブルシューティングの対処法などについて学べたら嬉しいです。(乳び・溶血・凝集の影響と対処法について)
- ・EDTAによる血小板凝集について、詳しい対処法など。
- ・凝固線溶の検査結果の見方、疾患との関連。
- ・見逃せないこのデータ
- ・異常値判明後の臨床医へのアプローチの仕方。
- ・実技講習を増やして頂けると幸いです。
- ・凝固の機器も複数メーカーの話を一度に聞きたい。
- ・細胞表面マーカーのデータの見方
- ・凝固系検査、TAT・Dダイマーなどについて。

8、血液検査研究班になにかご意見はありますか？

- ・今回は来場しやすい会場でした。有難うございます。(駅からのアクセスが良い、わかりやすい、広い)

